

平成 2 6 年度  
沖繩県産業廃棄物実態調査報告書〈概要版〉  
(平成 2 5 年度実績)

平成 2 7 年 3 月

沖繩県環境部



# 目 次

1. 調査目的	1
2. 調査対象期間	1
3. 調査方法	1
4. 調査対象業種	1
5. 調査対象廃棄物	1
6. 調査結果	2
(1) 発生状況	2
(2) 排出状況	3
(3) 処理・処分状況（動物のふん尿を除く）	4
(4) 前回調査との比較	6
産業廃棄物実態調査結果（要約）	7
統計表	8
表—1 業種別—発生及び処理・処分状況（動物のふん尿を除く）	8
表—2 種類別—発生及び処理・処分状況（動物のふん尿を除く）	10



## 1. 調査目的

沖縄県内における産業廃棄物の発生及び処理・処分状況等の実態を把握し、廃棄物処理計画策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査対象期間

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの 1 年間

## 3. 調査方法

郵送によるアンケート調査結果及び多量排出事業者からの産業廃棄物処理計画実施状況報告書に基づく推計（ただし、農業については資料調査）

アンケート調査件数 4,188 件

アンケート回収件数 2,146 件（回収率：54.7%）

## 4. 調査対象業種

日本標準産業分類に基づく、大分類 19 業種（略称で表記）を対象

- |   |
|---|
| ①農業・林業 ②漁業 ③鉱業 ④建設業 ⑤製造業 ⑥電気・水道業 ⑦情報通信業<br>⑧運輸・郵便業 ⑨卸・小売業 ⑩金融・保険業 ⑪不動産・物品賃貸業<br>⑫専門・技術サービス業 ⑬宿泊・飲食サービス業 ⑭生活関連サービス業<br>⑮教育・学習支援業 ⑯医療・福祉 ⑰複合サービス事業 ⑱サービス業 ⑲公務 |
|---|

## 5. 調査対象廃棄物

廃棄物処理法及び同法施行令で定める産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物。また、法令上廃棄物とならないもの、いわゆる有償物（排出事業者が何ら処理することなく、他人に有償で売却したもの、又は有償売却できるものを自ら利用したもの）も調査対象とした。

産業廃棄物
①燃え殻 ②汚泥 ③廃油 ④廃酸 ⑤廃アルカリ ⑥廃プラスチック類 ⑦紙くず ⑧木くず ⑨繊維くず ⑩動植物性残さ ⑪動物系固形不要物 ⑫ゴムくず ⑬金属くず ⑭ガラス・コンクリート・陶磁器くず ⑮鉱さい ⑯がれき類 ⑰ばいじん ⑱動物のふん尿 ⑲動物の死体 ⑳以上の廃棄物を処分するために処理したもの

特別管理産業廃棄物
①廃油 ②廃酸 ③廃アルカリ ④感染性産業廃棄物 ⑤廃石綿等 ⑥特定有害産業廃棄物

## 6. 調査結果

平成 25 年度に沖縄県内で発生した産業廃棄物の処理・処分状況は、以下のとおりである。

なお、本文・図表中の千トン表示及び構成比（％）の数値は、トン単位で算出しているため、四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

(単位：千トン／年)

項目\区分	平成25年度	
	動物のふん尿を含む	動物のふん尿を除く
発生量	3,557	2,160
有償物量	333	333
排出量	3,223	1,826

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

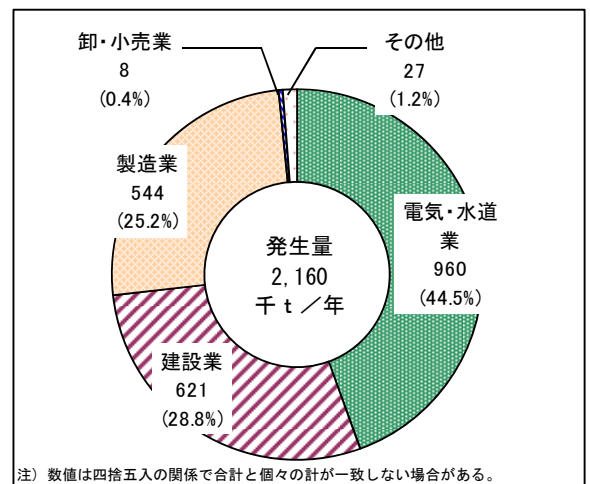
### (1) 発生状況

動物のふん尿を除く産業廃棄物の発生量は2,160千トンとなっており、業種別、種類別、地域別の発生状況については、次のとおりである。

#### ①業種別発生量

##### ● 上位3業種で発生量の98.5%

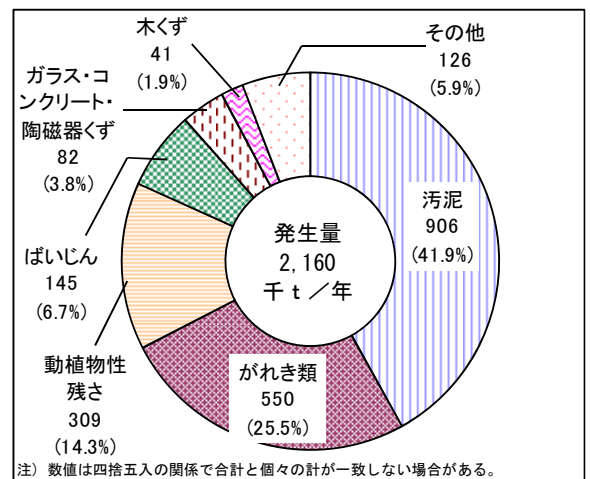
電気・水道業が960千トン（44.5%）で最も多く、次いで建設業が621千トン（28.8%）、製造業が544千トン（25.2%）等となっており、これら3業種で発生量の98.5%を占めている。



#### ②種類別発生量

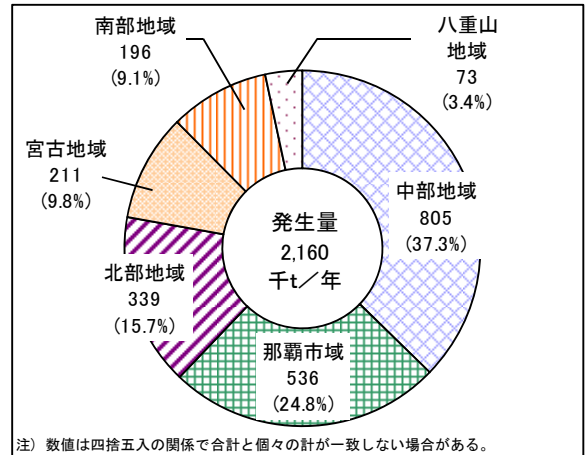
##### ● 上位4種類で発生量の88.4%

汚泥が906千トン（41.9%）で最も多く、次いでがれき類が550千トン（25.5%）、動植物性残さが309千トン（14.3%）、ばいじんが145千トン（6.7%）等となっており、これら4種類で排出量の88.4%を占めている。



### ③地域別発生量

発生量（2,160千トン）を地域別にみると、中部域が805千トン（37.3%）で最も多く、次いで、那覇市域が536千トン（24.8%）、北部地域が339千トン（15.7%）、宮古地域が211千トン（9.8%）、南部地域が196千トン（9.1%）、八重山地域が73千トン（3.4%）の順になっている。



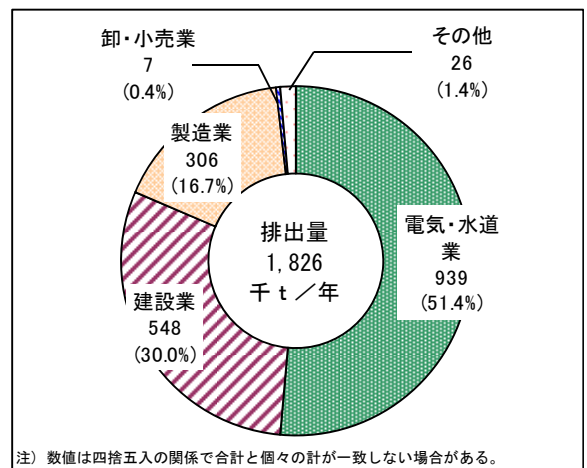
### (2) 排出状況

動物のふん尿を除く産業廃棄物の排出量は1,826千トンとなっており、業種別、種類別、地域別の排出状況については、次のとおりである。

#### ①業種別排出量

##### ● 上位3業種で排出量の98.1%

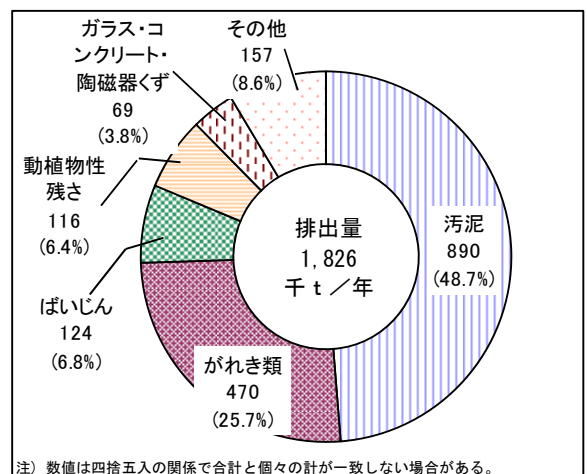
電気・水道業が939千トン（51.4%）で最も多く、次いで建設業が548千トン（30.0%）、製造業が306千トン（16.7%）等となっており、これら3業種で排出量の98.1%を占めている。



#### ②種類別排出量

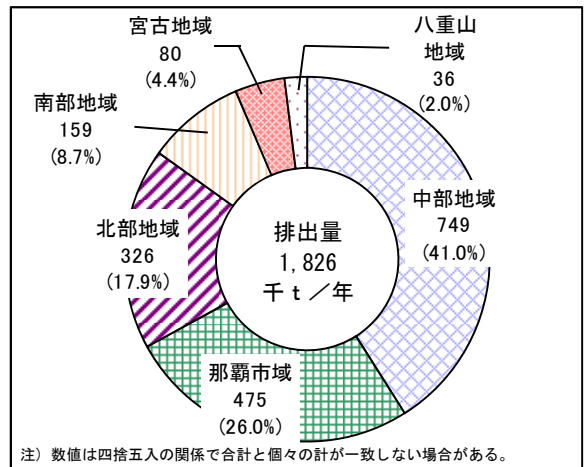
##### ● 上位4種類で排出量の87.6%

汚泥が890千トン（48.7%）で最も多く、次いでがれき類が470千トン（25.7%）、ばいじんが124千トン（6.8%）、動植物性残さが116千トン（6.4%）等となっており、これら4種類で排出量の87.6%を占めている。



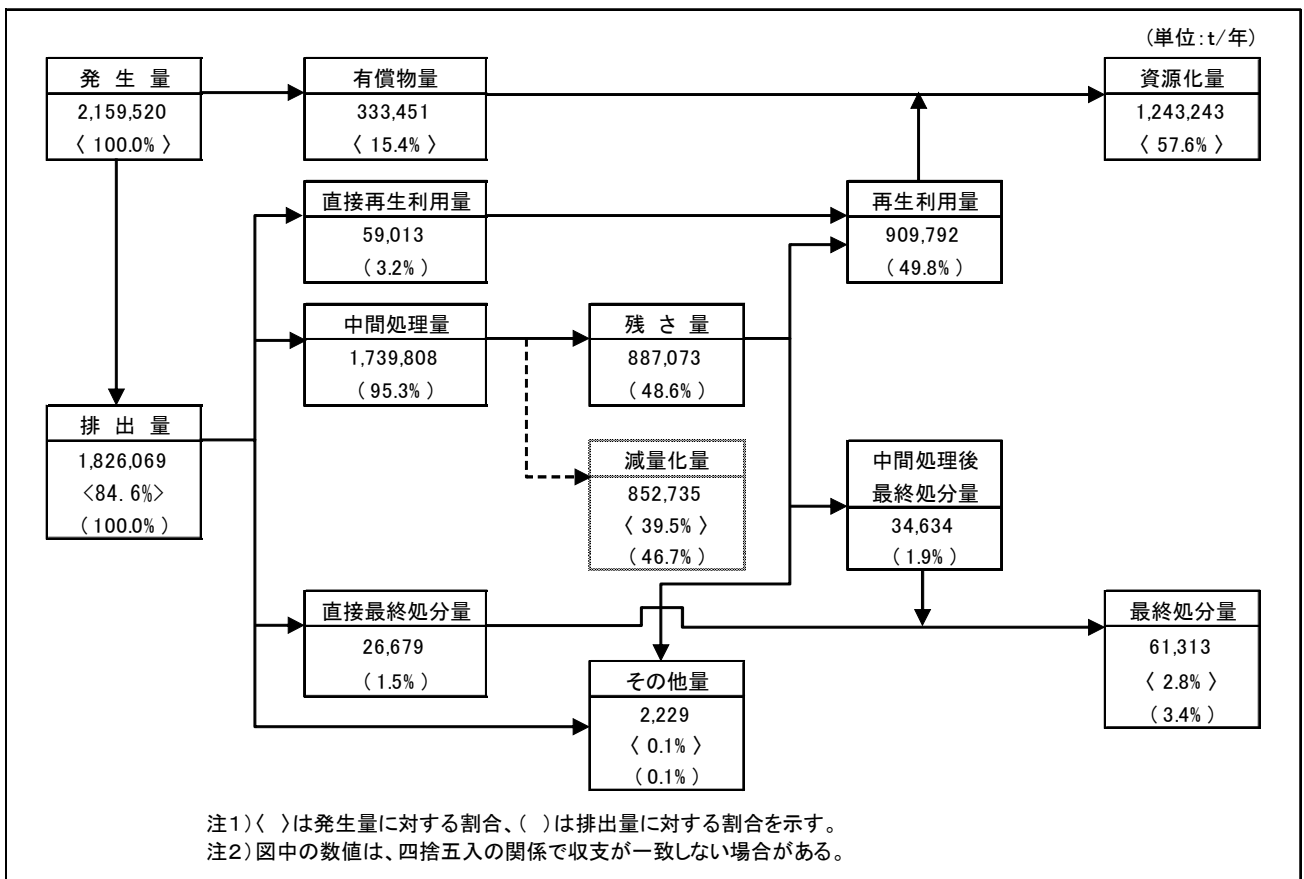
③地域別排出量<sup>注)</sup>

排出量(1,826千トン)を域別にみると、中部地域が749千トン(41.0%)で最も多く、次いで、那覇市域が475千トン(26.0%)、北部地域が326千トン(17.9%)、南部地域が159千トン(8.7%)、宮古地域が80千トン(4.4%)、八重山地域が36千トン(2.0%)の順となっている。



(3) 処理・処分状況(動物のふん尿を除く)

排出量1,826千トンの処理・処分状況を見ると、脱水・焼却等の中間処理によって853千トン(46.7%)が減量化され、910千トン(49.8%)が土木・建設資材や肥料等に再生利用されており、結果的に61千トン(3.4%)が最終処分されている。



発生・排出及び処理・処分状況の流れ図

注) 地域別の発生・排出状況について

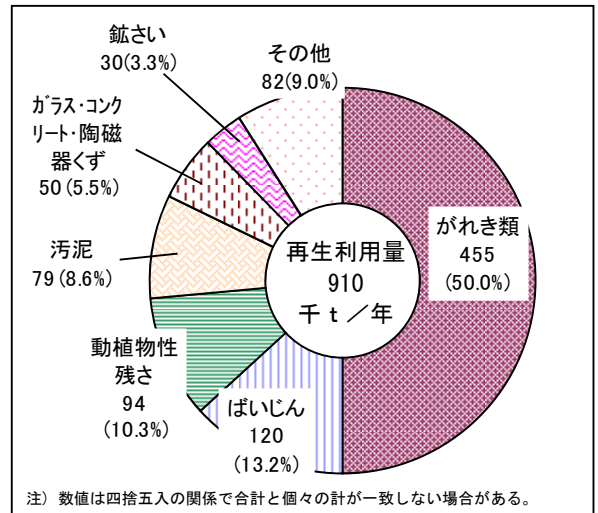
宮古地域及び八重山地域は、人口規模等が同程度の地域であるが、産業廃棄物の発生量、排出量ともに2倍程度の差がみられる。これは、食料品製造業(主に製糖工場から発生する動植物性残さ)の影響が大きいことによるものである。また、南部地域及び宮古地域とを比較すると、発生量は宮古地域が多く、排出量は南部地域が多くなっている。これは、宮古地域では食料品製造業の規模が大きく、発生する動植物性残さを有償物(肥料等)として取り扱う量も多いことによるものである。



### ①再生利用量

#### ● 上位4種類で再生利用量の82.1%

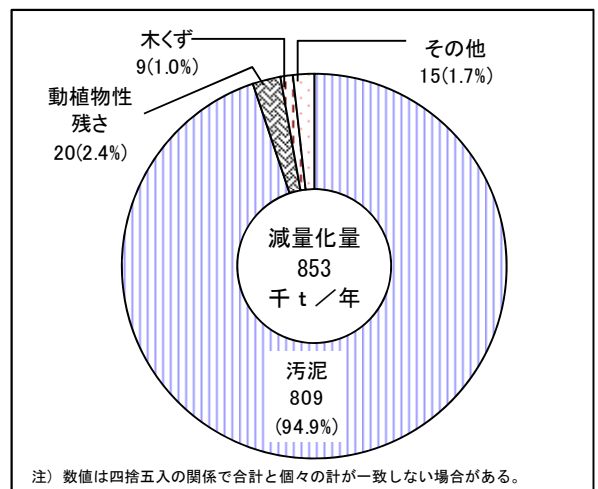
がれき類が455千トン（50.0%）で最も多く、次いで、ばいじんが120千トン（13.2%）、動植物性残さが94千トン（10.3%）、汚泥が79千トン（8.6%）等となっている。



### ②減量化量

#### ● 上位3種類で減量化量の98.3%

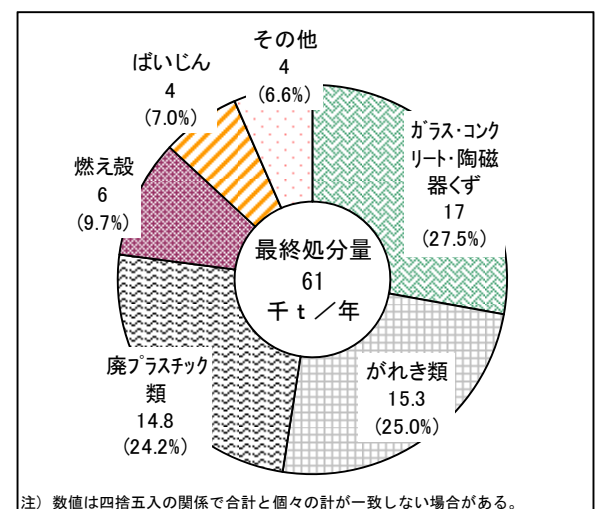
汚泥が809千トン（94.9%）で大部分を占めており、以下、動植物性残さが20千トン（2.4%）、木くずが9千トン（1.0%）等となっている。



### ③最終処分量

#### ● 上位5種類で最終処分量の93.4%

ガラス・コンクリート・陶磁器くずが17千トン（27.5%）で最も多く、次いで、がれき類が15.3千トン（25.0%）、廃プラスチック類が14.8千トン（24.2%）、燃え殻が6千トン（9.7%）、ばいじんが4千トン（7.0%）等となっている。



(4) 前回調査との比較

処理・処分状況を前回調査(平成20年度)と比較すると、以下のとおりである。

排出量が減少する中で、再生利用量は2千トン減少しているが、再生利用率で見ると48.6%から49.8%へ1.2ポイントの上昇(主に食料品製造業の動植物性残さ、電気・水道業のばいじん、製造業:鉄鋼の鉱さい等)となっている。また、中間処理による減量化量は44.0%から46.7%へ2.7ポイントの上昇(主に下水道業の有機性汚泥)となっている。このような減量化・リサイクル等の取組によって、結果的に最終処分量は約半分(6.5%から3.4%へ3.1ポイントの低下)の大幅な低下となっている。

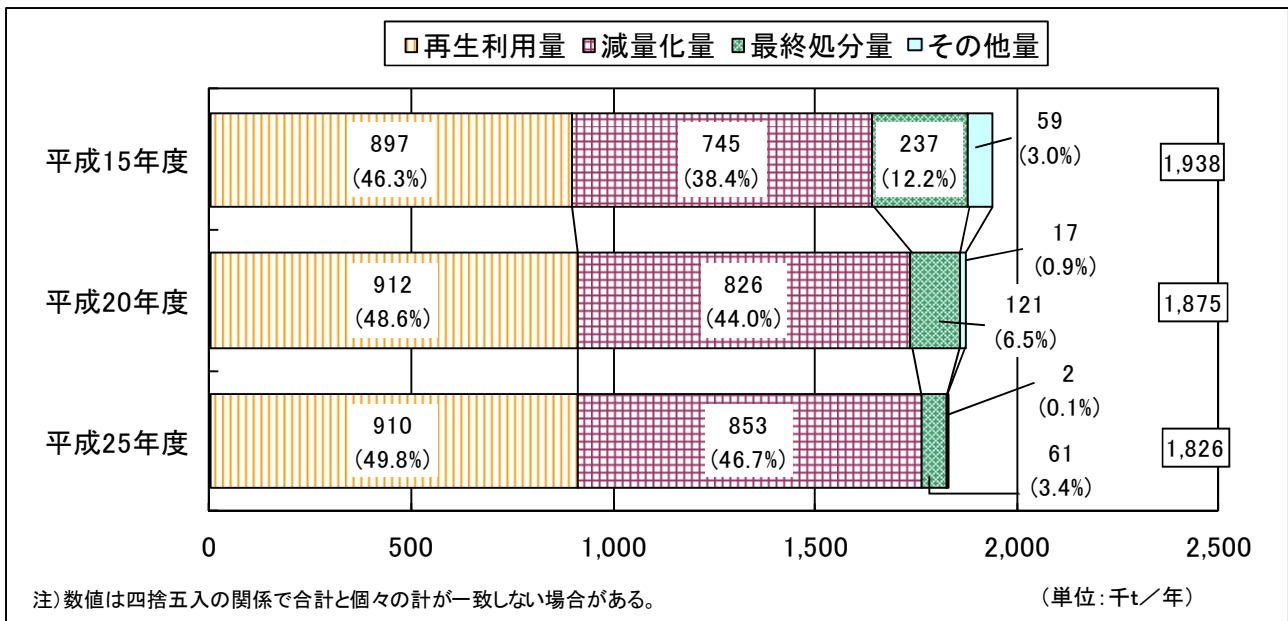
処理・処分状況の比較(動物のふん尿を除く)

(単位:千t/年)

項目	平成15年度	平成20年度	平成25年度	増減量	増減率(%)
排出量	1,938 (100.0%)	1,875 (100.0%)	1,826 (100.0%)	△ 49	△ 2.6
再生利用量	897 (46.3%)	912 (48.6%)	910 (49.8%)	△ 2	△ 0.2
減量化量	745 (38.4%)	826 (44.0%)	853 (46.7%)	27	3.3
最終処分量	237 (12.2%)	121 (6.5%)	61 (3.4%)	△ 60	△ 49.7
その他量	59 (3.0%)	17 (0.9%)	2 (0.1%)	△ 15	△ 87.9

注1) 数値は四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

注2) 増減量、増減率は平成20年度と平成25年度との比較によるもの。



処理・処分状況の比較(動物のふん尿を除く)

## 産業廃棄物実態調査結果（要約）

### 1. 発生状況

#### (1) 発生量

2,160 千トン

#### (2) 業種別発生量

電気・水道業 960 千トン（44.5%）、建設業 621 千トン（28.8%）、  
製造業 544 千トン（25.2%）の上位3業種で発生量の98.5%を占める。

#### (3) 種類別発生量

汚泥 906 千トン（41.9%）、がれき類 550 千トン（25.5%）、動植物性残さ  
309 千トン（14.3%）、ばいじん 145 千トン（6.7%）の上位4種類で発生量の  
88.4%を占める。

#### (4) 地域別発生量

中部地域 805 千トン（37.3%）、那覇市域 536 千トン（24.8%）、北部地域  
339 千トン（15.7%）、宮古地域 211 千トン（9.8%）、南部地域 196 千トン  
（9.1%）、八重山地域 73 千トン（3.4%）の順。

### 2. 排出状況

#### (1) 排出量

1,826 千トン

#### (2) 業種別排出量

電気・水道業 939 千トン（51.4%）、建設業 548 千トン（30.0%）、  
製造業 306 千トン（16.7%）の上位3業種で排出量の98.1%を占める。

#### (3) 種類別排出量

汚泥 890 千トン（48.7%）、がれき類 470 千トン（25.7%）、ばいじん  
124 千トン（6.8%）、動植物性残さ 116 千トン（6.4%）の上位4種類で  
排出量の87.6%を占める。

#### (4) 地域別排出量

中部地域 749 千トン（41.0%）、那覇市域 475 千トン（26.0%）、北部地域  
326 千トン（17.9%）、南部地域 159 千トン（8.7%）、宮古地域 80 千トン  
（4.4%）、八重山地域 36 千トン（2.0%）の順。

### 3. 処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

#### (1) 排出量

1,826 千トン

#### (2) 再生利用量

910 千トンで 排出量の 49.8%

#### (3) 減量化量

853 千トンで 排出量の 46.7%

#### (4) 最終処分量

61 千トンで 排出量の 3.4%

表一-1 業種別一発生及び処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

(単位：/年)

業 種	(その1)																			
	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量							
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	(自己未処理の内訳)		再生利用量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (L) (M+N)					
							委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)				委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)							
農 業・林 業	2,159,520	333,451	1,826,069	953,960	180,022	56,258	3	121,329	772	1,660	872,109	59,013	8,404	785,848	18,275	569	936,860	8,407	7,521	886
漁 業	2,762		2,762								2,762			2,384	352	26	2,762			
畜 業	311		21								21			21			21			
建 設 業	620,881	73,049	547,832	33,847	32,977	18,303	12,339	12,339	771	1,564	513,985	59,013		489,904	14,055	26	528,659			
製 造 業	543,891	238,195	305,696	110,477	55,690	29,251	26,439	26,439			195,219	59,013		133,289	2,907	10	162,645			
食料品	332,436	210,397	122,039	3,729	1,377	186	1,191	1,191			118,310	59,013		59,106	191		60,488			
飲料・飼料	16,652	1,165	15,487	11,651	4,572	3,885	687	687			3,836			3,808	28		4,523			
繊維	2		2								2			1			2			
木材	191	18	173	72	72						101			101			173			
家具	150	60	90								90			90			90			
パルプ・紙	43,598	1,478	42,120	41,080	2,802		2,802				1,040			1,040			3,842			
印刷	1,833	181	1,652	3							1,649			1,649			1,649			
化学	3,200	123	3,077								3,077			3,057	17	3	3,077			
石油・石炭	151		151								151			151			151			
プラスチック	484	203	281	16	16						265			257	8		265			
ゴム																				
皮革																				
窯業・土石	84,524	20,203	64,321	17,927	13,132	1,815	11,317	11,317			46,394			46,311	77	6	57,711			
鉄鋼	49,639		49,639	34,682	33,569	23,349	10,220	10,220			14,957			12,796	2,161		25,177			
非鉄金属	2,259		2,259								2,259			2,033	226		2,259			
金属	7,182	3,836	3,346	1,212	75						2,134			1,945	188	1	2,209			
はん用機器	205	49	156								156			156			156			
生産用機器	6		6								6			6			6			
業務用機器	13		13								13			3	10		13			
電子部品	34		34								34			34			34			
電気機器	164	33	131	105	75						26			26			101			
情報通信機器																				
輸送用機器	404	284	120								120			120			120			
その他	764	165	599								599			599			599			
電気・水道業	960,260	21,036	939,224	806,929	90,061	8,235	3	81,727		96	132,295			123,490	2	497	214,121	8,309	7,423	886
電気業	176,255	20,668	155,587	26,963	16,231	4,752	11,479	11,479			128,624			119,819	2	497	140,103	8,306	7,420	886
ガス業	241		241								241			241			241			
上水道業	77,175		76,807	76,805	2,808	2,702	3	7		96	2			2			108	3	3	
下水道業	706,589		706,589	703,161	71,022	781	70,241	70,241			3,428			3,428			73,669			
運輸・郵便業	4,900	32	4,868								4,868			4,845	18	5	4,868			
卸・小売業	7,583	488	7,095	728	721						6,367			5,972	391	4	7,088			
宿泊・飲食サービス業	3,989	156	3,833	17	5						3,816			3,443	283		3,821	90		
医療・福祉	4,824	2	4,822	112	13						4,710			4,695	15		4,723			
サービス業	5,198	288	4,910	257	26						4,653			4,476	169		4,679	8		
その他の業種 ※	4,900	13	4,887	1,593	529	469	60	60			3,294			3,211	82	1	3,354			

注) ※欄の「その他の業種」は、情報通信業・金融・保険業、不動産・物品賃貸業・学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、公務の合計値である。



表一-2 種類別一発生及び処理・処分状況（動物のふん尿を除く）

(その1)

(単位：t/年)

区分 種類	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量			
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+E)	(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)		(G2)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	
							再生利用量	自己最終処分量						委託中間処理量	委託最終処分量				委託最終処分量
合計	2,159,520	333,451	1,826,069	953,960	180,022	56,258	3	121,329	772	1,660	872,109	59,013	8,404	785,848	18,275	569	936,860	8,407	886
燃え殻	6,511	1,788	4,723	13				13			4,723		2,665	1,796	262		4,736	2,665	
汚泥	905,718	15,786	889,932	864,338	97,258	10,327	3	86,832		96	25,594		1,348	23,725	3	518	112,525	1,351	
有機性汚泥	777,854	14,993	762,861	753,216	75,595	1,337		74,258			9,645			9,645			83,903		
無機性汚泥	127,864	793	127,071	111,122	21,663	8,990	3	12,574		96	15,949		1,348	14,080	3	518	28,622	1,351	
廃油	7,600	314	7,286	1,638	1,637			1,637			5,648			5,648			7,285		
一般廃油	5,028	292	4,736	3	2			2			4,733			4,733			4,735		
廃溶剤	21		21								21			21			21		
固形油	2,280		2,280	1,635	1,635			1,635			645			645			2,280		
油でい	167	22	145								145			145			145		
油付着物類	104		104								104			104			104		
廃酸	483		483								483			483			483		
廃アルカリ	110		110								110			110			110		
廃プラスチック類	23,517	466	23,051	1,334	1,173	16		721	436		21,717		8	17,534	4,144	31	22,874	8	8
廃プラスチック	18,307	134	18,173	1,333	1,172	16		720	436		16,840		8	13,409	3,397	26	17,996	8	8
廃タイヤ	5,210	332	4,878	1	1			1			4,877			4,125	747	5	4,878		
紙くず	5,524	1,618	3,906	18	6			6			3,888			3,872	16		3,894		
木くず	41,286	88	41,198	2,567	2,510	695		251		1,564	38,631			38,619	12		40,446		
繊維くず	53		53	4	4			4			49			49			53		
動植物性残さ	309,324	192,941	116,383	7,968	4,671	3,979		692			108,415	59,013		49,402			50,094		
動物系固形不要物	2,305		2,305								2,305			2,305			2,305		
ゴムくず	99		99								99		90	8	1		99	90	90
金属くず	24,442	6,590	17,852	2,236	2,200	279		1,921			15,616			15,493	113	10	17,537		
ガラス・セラミックス類	81,563	12,586	68,977	6,730	4,882			4,546	336		62,247			54,581	7,660	6	67,129		
鉱さい	30,351	40	30,311	23,349	23,349						6,962			6,962			6,962		
がれき類	549,962	80,072	469,890	31,912	31,912	17,613		14,299			437,978			432,338	5,640		452,277		
コンクリート片	359,068	50,231	308,837	12,704	12,704			12,704			296,133			292,059	4,074		308,837		
廃プラスチック	180,298	29,841	150,457	19,208	19,208	17,613		1,595			131,249			129,743	1,506		132,844		
その他	10,596		10,596								10,596			10,536	60		10,596		
ばいじん	145,268	20,974	124,294								124,294		4,293	120,001			124,294	4,293	886
動物のふん尿																			
動物の死体	1,698		1,698								1,698			1,698			1,698		
その他産業廃棄物	23,706	188	23,518	11,866	10,407			10,407			11,652			11,224	424	4	22,059		
感染性廃棄物	2,709		2,709	112							2,597			2,597			2,597		
混合物等	20,997	188	20,809	11,754	10,407			10,407			9,055			8,627	424	4	19,462		







---

---

平成 2 6 年度

沖縄県産業廃棄物実態調査報告書<概要版>

(平成 2 5 年度実績)

(平成 2 8 年 3 月訂正版)

調査主体 : 沖縄県環境部 環境整備課

調査委託先 : 一般財団法人 日本環境衛生センター

〒 8 1 6 - 0 9 4 3

福岡県大野城市白木原 3 丁目 5 番 1 1 号

TEL 0 9 2 - 5 9 3 - 8 2 4 0

FAX 0 9 2 - 5 9 3 - 8 2 5 5

---

---